

国際バカロレア 教育者ネットワーク： 成功事例のケーススタディー

IBリサーチによる調査概要報告

クリスティン・チャドウィック、マイケル・シアー、
ジャンディー・トッド

Inflexion

2019年1月



背景

国際バカロレア教育者ネットワーク (IBEN) とは

国際バカロレア教育者ネットワーク (IBEN : International Baccalaureate Educator Network) は、IBプログラムの開発と運営を担う教育者にトレーニングを提供する重要な役割を担っています。IBの教育者 (IBE : International Baccalaureate educator) はワークショップのファシリテーション、学期末試験の評価などのさまざまなタスクを担当し、プログラムに興味をもつ学校や候補校、IBワールドスクールに訪問します。

このリサーチでは、IBENへの参加が教育者および彼らの所属する学校へもたらすメリットを評価します。世界的なアンケート調査と、南北アメリカ、ヨーロッパ、およびアジアにおける学校でのケーススタディーを行い、さまざまな背景や学校のタイプを考慮に入れています。調査結果は、IBENへの参加により学校が得られるメリットを最大化するのに利用できます。

調査結果

IBEへのメリット

IBEはIBENへの参加によりいくつかのメリットを得ることができ、その多くは生徒や同僚に対して波及効果があるものです。

- **評価** IBの試験に備えて生徒に指導を行えるようになるというIBEの共通した意識が見られました。
- **プロフェッショナルスキルと教育スキル** IBEはIBENへの参加により、プロフェッショナルとしてのスキルと教育者としてのスキルを向上させることができると確信しています。調査参加者は、IBENのトレーニングを「過去最高の教員研修だった」、「教育者として著しく成長できた」、「自身をプロフェッショナルな存在だと感じられるようになった」と述べています。

**IBの試験に備えて
生徒に指導を行えるようになるという
IBEの共通した意識が見られました。**

「過去最高の教員研修だった」

「教育者として著しく成長できた」

「自身をプロフェッショナルな存在だと
感じられるようになった」

- **最新リソース** 最新リソース (特に新しい「指導の手引き」) について学べたことも有用だったという意見が聞かれます。更新内容を適用前に学べる場合が多く、変更時点でどのように指導方法を変えていくかを事前に考えることができます。
- **IBの中核概念への精通** IBENへの参加により、IBEはIBのミッションについて他者に伝えることができるようになったり、国際的な視野や「IBの学習者像」、プログラムの基準と実践要綱について理解を深めることができたと述べています。
- **IBコミュニティとの関わり** IBEは、IBENの参加によりIBとのつながりを強められることを大きなメリットだと捉えています。他の教育者とのネットワーキングによって自身の学びを深めることもできます。

学校にとってのメリット

IBENへの参加は学校にさまざまなメリットをもたらすことが示されました。

- **体系的なアプローチと協同** IBENへの参加で学んだことをIBEはさまざまな方法で学校内の同僚にシェアします。これには非形式的なシェア、新人研修、専門性を高める学びのコミュニティ (PLC : professional learning community) などが含まれます。

- **学校品質に対する認知** IBENのメンバーである教師が所属していることで、生徒やその家族、優秀な教師を学校に呼び込みやすくなります。
- **試験の成績** 聞き取り調査の参加者は、IBENへの参加によって学校全体での試験の成績が向上した、と述べることははばかられるようでした。ただし、IBENでの学びを効果的に取り入れた学校の教師の中には、IBENのメンバーがいなかったら試験の成績は悪くなるはずだと考えている方がいました。
- **IBコミュニティとの関わり** IBEが増え他のIBワールドスクールとの交流が増えることで、IBコミュニティと学校の関わりが深まったという声が聞かれました。

学校で確実に効果を上げるための実践方法

調査の結果、学校全体で確実に効果を上げるための実践方法として以下が挙げられました。

20~30%

学校の教職員の20~30%が
IBENのメンバーになると
IBENへの参加のメリットが強く得られます。

科目、グループ、教科、学年で
IBENの参加者を分配する。

- 校内のIBEを**十分な数にする**。学校の教職員の20~30%がIBENのメンバーになるとIBENへの参加のメリットが強く得られます。
- 科目、グループ、教科、学年でIBENの参加者を**分配する**。
- IBENの知識経験に基づき**意図的に採用と記録を行う**。
- PLCと協同を定着させ支援する。学校の管理職は教員研修の日を設定し、協同に特化した時間を義務化する。
- **IBENでの学びをシェアするガイドライン**と手順を作成し周知する。学びをシェアする方法の例：リーダーシップチームのミーティングでの議題とする、IBENワークショップの全体または要約版を提供する、シェアするためのセッションを開催する、ニュースレターやブログで情報共有するなど
- 意図的かつ繰り返し、**教師にIBENのリソースの存在を認識させる**。学校は、誰がIBEで、彼らがどんな専門知識を持っているかを意図的に周知する。

- **IBENのメンバーは、校内のIBの教師全員が新しく学んだことを確実に実施できるようにする**。例：各科目の複数の教師が同じ試験の採点を行い結果を比較する「採点の比較」を行う、授業見学を自由に行えるようにする、他のIBワールドスクールとの協同を促す

まとめ

この調査は、IBENへの参加のメリット、およびIBENでの学びを校内にどのように波及させられるかを評価することを目的としました。IBEから報告されたメリットの例は、IBでの評価についての理解と準備の向上、科目の知識と教育スキルの向上、最新のリソースに対するアクセス、IBのコンセプトへの精通、およびIBや他のIBEとのつながりなどです。学校が挙げた教職員がIBENに参加するメリットの例は、協同するための体系的なアプローチの構築、学校の評判の向上、生徒の試験結果の向上の可能性、およびIBコミュニティとの関わりへの促進などです。

IBENでの学びを実践できた学校は、計画のために十分な時間を割り、異なるグループの参加するさまざまなミーティングと定期的な教員研修を行っています。また、IBENで得た情報を効果的かつ迅速に共有しています。IBENへの参加からメリットを得られるかにおいて、学校管理職も重要な要素となるようです。最後に、教科間での協同の文化をもっている学校では、IBEが学んださまざまな情報と新しいスキルを共有し、それを咀嚼することができていました。



この調査概要報告はIBリサーチ部によって作成されました。調査の方法などを記載した報告書全文はIBのウェブサイト (www.ibo.org/en/research/) から入手できます。この調査に関するお問い合わせはIBリサーチ (research@ibo.org) にメールしてください。

報告書全文を引用する場合、以下を記載してください。

Chadwick, K, Thier, M and Todd, J. 2019. *International Baccalaureate Educator Network: Success case study*. Bethesda, MD, USA. International Baccalaureate Organization.